

木更津市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に係る令和5年度実績について

1) 令和5年度の総排出量実績

本市における令和5年度の温室効果ガス総排出量(CO2換算)の実績値は、**7,748t-CO2**であり、目標値である**3,813t-CO2**を上回っています。これまでの総排出量の推移は、図1のとおりであり、一般廃棄物の処理を広域化した平成18年で大幅に減少、その後、平成26年度をピークに減少傾向となり、令和元年度の水道事業(排出量約2,000t)の広域化等がこれまでにありました。前回の第3次木更津市地球温暖化対策実行計画の計画期間中である、令和元年度から令和4年度にかけては、排出係数¹を基準年度である平成28年度に固定しておりましたが、今期計画からは、目標との比較を行うため、令和5年度より各年度の排出係数で算出を行っております。

その結果、令和4年度と令和5年度を比較すると、排出量が下がっておりますが、これは主に電力の使用における、排出係数の低減による影響です。

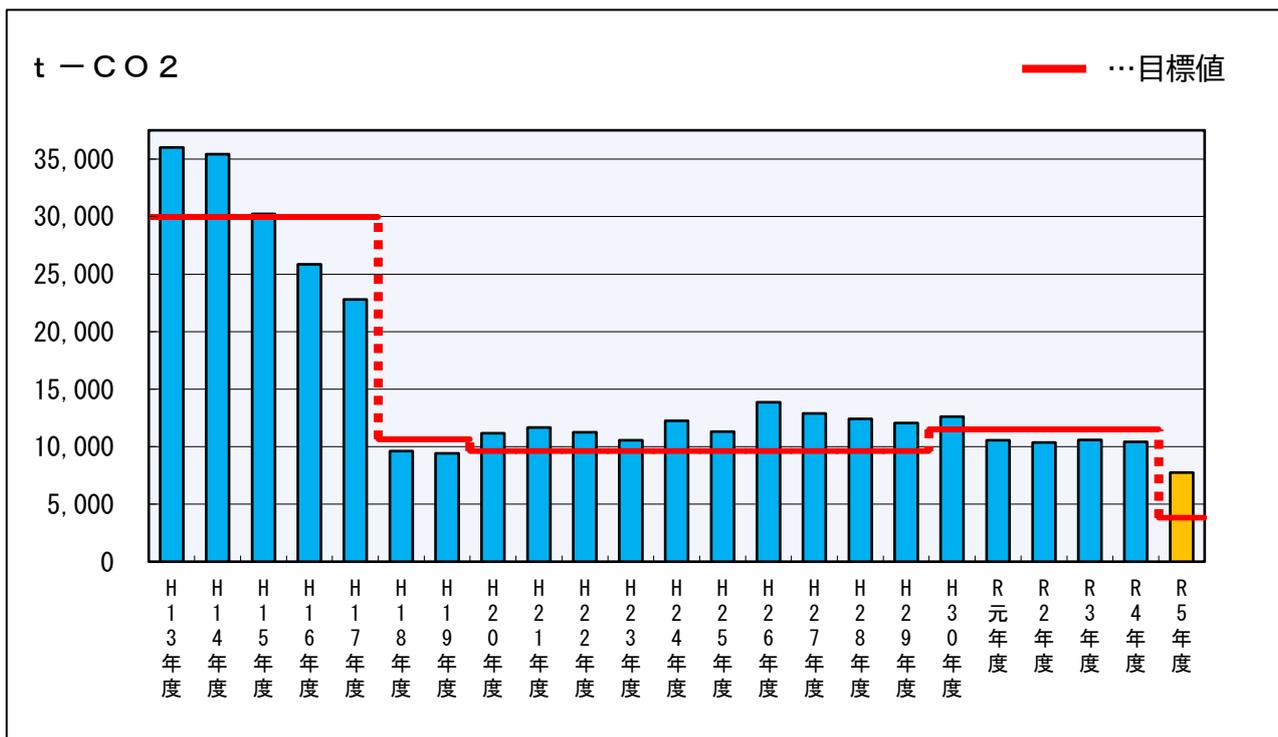


図1 温室効果ガス総排出量の推移

¹ 電気の使用に伴う二酸化炭素の排出量の算定における電気事業者ごとの排出係数を指します。